

令和4年度

学校評価報告書

令和5年1月20日

佐久市立中佐都小学校

学校評価アンケート実施日 令和4年11月8日(火)～11日(金)

(1) 学校評価アンケート結果と考察

A: そう思う B: ややそう思う C: ややそうは思わない D: そう思わない / 数値は%

重点1 友を思いやり共に高め合う仲間づくり

評価項目	評価者	A	B	C	D	考 察
多様性を尊重する	児童	51	43	4	2	多様性を認め合う環境はできつつありますが、さらに個に対応していく指導について検討していきます。具体的には、個別対応の計画を練り直したり、ボランティアの活用等を検討します。また、学校全体で個々の児童理解を深めていく具体的な方策について検討を重ねていきます。協働的な課題に取り組むことについては、全ての評価者において極めて高い肯定的評価を得ています。今年度の活動を継続していきます。あいさつについては児童会活動を中心として校内の雰囲気さらに拡げ、家庭や地域と連携し、いつでもどこでも誰にでも、自然と挨拶ができる子どもを育てていきたいと考えます。
	保護者	31	64	4	1	
	教職員	6	72	22	0	
	学校関係者	20	80	0	0	
協働的に課題に取り組む	児童	61	34	4	1	
	保護者	42	55	2	1	
	教職員	6	88	6	0	
	学校関係者	60	40	0	0	
明るいあいさつができる	児童	43	43	10	4	
	保護者	20	54	22	4	
	教職員	0	33	56	11	
	学校関係者	40	60	0	0	

重点2 子どもと共につくる授業「教える→学ぶ」授業へ

評価項目	評価者	A	B	C	D	考 察
主体的に学ぶ	児童	44	46	8	2	どの項目においても、児童・保護者・学校関係者と教職員との間で評価の差がみられました。児童・保護者・学校関係者の肯定的評価が高い一方で、教職員の評価が低い結果が見受けられます。教職員が授業場面に応じた「主体的で探究的、自律的な」具体的な学びの姿を共有して学校全体で授業改善が進むようにしていきます。そのために、今年度の授業の反省や研究の成果を生かし、子どもたちの「主体的・探究的・自律的に学ぶ姿」はどこにあったか、具体的な姿を見出し、来年度の取組につなげていくように検討していきます。
	保護者	26	61	12	1	
	教職員	6	67	27	0	
	学校関係者	60	40	0	0	
探究的に学ぶ	児童	45	43	10	2	
	保護者	19	62	17	2	
	教職員	0	39	61	0	
	学校関係者	40	60	0	0	
自律的に学ぶ	児童	44	46	8	2	
	保護者	22	59	18	1	
	教職員	0	56	44	0	
	学校関係者	40	60	0	0	

重点3 見通しをもって、粘り強く取り組む態度の育成

評価項目	評価者	A	B	C	D	考 察
粘り強く取り組む	児童	35	49	14	2	粘り強く取り組むについては、児童・保護者が80%以上の肯定的評価である一方で、教職員の評価は半々に分かれました。原因として目指す到達点の違いが考えられます。個に応じた指導と関連しながら、「粘り強く取り組む姿」を具体的に検討し、児童、保護者、教職員が共通の認識を持って指導に当たれるようにしていけるように検討していきます。しじみ清掃については、どの評価者においても肯定的な評価が見受けられます。今年度の取組を継続していきます。登下校方法については、評価が分かれました。送り迎えのルールについて共通認識が持てるように改善していきます。
	保護者	20	67	12	1	
	教職員	6	50	38	6	
	学校関係者	60	40	0	0	
しじみ清掃に取り組む し：しずかに　じ：時間いっぱい み：みつけ掃除	児童	48	40	10	2	
	保護者	41	55	4	0	
	教職員	17	66	17	0	
	学校関係者	20	60	20	0	
歩いて登下校する	児童	62	26	9	3	
	保護者	33	51	15	1	
	教職員	6	50	44	0	
	学校関係者	40	60	0	0	

重点4 ふるさと中佐都を愛する心

評価項目	評価者	A	B	C	D	考 察
地域に開かれた学校	児童	54	40	5	1	開かれた学校については評価者すべてにおいて85%以上の肯定的評価がみられました。外部講師を招へいたクラブ活動等の充実をさらに検討していきたいと考えています。地域との交流については、児童・教職員・学校関係者は90%以上、保護者は80%以上の肯定的評価がみられました。地域との交流事業については、様々なご意見を参考に再検討していきます。校外での学びの場については、児童・保護・学校関係者と教職員の評価がわがれました。コロナ対策を行いながら、内容を精選し充実した校外活動になるように検討していきます。
	保護者	30	58	10	2	
	教職員	6	89	5	0	
	学校関係者	40	60	0	0	
地域と交流する学校	児童	57	38	4	1	
	保護者	30	55	14	1	
	教職員	6	83	11	0	
	学校関係者	40	60	0	0	
校外で学ぶ学校	児童	63	32	4	1	
	保護者	30	53	15	2	
	教職員	0	72	22	6	
	学校関係者	20	80	0	0	

(2)自由記述より

- ◇読み聞かせボランティアで定期的に学校に行きますが、いつも気持ち良く迎え入れていただきありがとうございます。
- ◇リモート授業を受けた時、答え合わせで不正解だった子に対して「間違えてもいいんだよ。どうして間違えたのか一緒に考えよう。」と声を掛けてくださった姿が印象的でした。
- ◇子どもの意思を確認しながらできる役割を与えていただくことを重ねる中で、人の前に出て発表することによりかなり抵抗を感じていた我が子が、人前で言葉を話す機会にあまり緊張しなかったとさうらうというようになってきました。成長を感じます。
- ◇学校での困り事についての報告をその都度して頂けたことで、学校と家庭で連携して対応できた事がありがたかったです。子どもの得意な事を見つけて頂いたお陰でやる気が芽生えたと思います。
- ◇各種ボランティア関連はうまくいっていると思います。今後はもっと広く協力者を求め多様化をすすめたいものです。児童たちの社会性の形成のためにももう少し時間をさいてもいいのではないかと考えます。例えば、民芸とか伝統的(歴史的)なものへの関心を持ってもらえるような場、機会を持つことなど。

(3)コミュニティースクール推進委員会より 令和5年1月20日(金)開催

- ◇評価について外部評価と内部評価では尺度が異なるため妥当な数値と考える。同じ評価基準で判断ができるように工夫してほしい。
- ◇子どもを中心としてこの先の在り方について明確にしていくことが重要である。実行と評価、見返しを繰り返し、より良い方向を探っていくしてほしい。
- ◇育成会組織がしっかりしている中佐都小の特色を生かして、地域と関わる活動をより充実させていくべきである。
- ◇明るいあいさつについては、例年よりも向上していると実感している。
- ◇教科担任制や通知表2学期制のメリットを生かしながらも、より細やかな評価方法についてよく検討していくしてほしい。

(4)令和5年度に向けて

アンケートの結果の分析および考察等から、令和5年度に向け、以下のプロジェクトを立ち上げ学校運営の見直しを行っていきます。具体的な内容は以下に示した通りです。

No.	プロジェクト名	内 容
1	グラウンドデザイン【重点】の 具体的改善方法について	◇学校評価アンケートの考察をもとに、グラウンドデザインの重点1～4への取組で具体的な改善方法を検討していきます。その結果については、令和5年度のグラウンドデザインに反映していきます。
2	教科担任制及び通知表2学期 制の具体的運用方針について	◇教科担任制の進め方について、児童の学力向上につながる視点から時間割の作成を行います。 ◇通知表の2学期制については、評価項目(観点別 or 単元別)のメリットとデメリットについて検討し、ひな形を作成していきます。
3	行事の精選と校務の効率化に ついて	◇学校評価アンケートの結果をもとに、行事の配置、精選について検討していきます。また、精選する場合は、具体的な理由と精選への道筋について検討もしていきます。

学校の願い

- ・多様性を認め、他者と積極的に関わり、協働的に課題に向かう子どもを育てたい。
- ・予測困難な時代を生きるために、未来を切り開く資質や能力を身につけさせたい。

明日も楽しみな学校

保護者・地域の願い

- ・子どもたちが安心して楽しく通える学校にしてほしい。
- ・基礎的な学力や生活習慣を身につけてほしい。
- ・進んで明るいあいさつができるようになってほしい。

友を思いやり、共に高め合う仲間づくり

- ①多様性を尊重する子ども
- ②協働的に課題に向かう子ども
- ③明るいあいさつが聞こえる学校

なかよく

- ・子どものよさを引き出す支援（子どもを見つめ理解する）
- ・安心して過ごせる居心地のよい学校・学級（傾聴、寄り添う）
- ・インクルーシブな教育（多様性を包みこむ、合理的配慮）
- ・子どもの視点に立った支援（信州型UDの研修）
- ・なかよし旬間、姉妹学級、縦割り活動、集会活動の充実

子どもと共に作る授業「教える→学ぶ」授業へ

- ①主体的に学ぶ子ども
- ②探究的に学ぶ子ども
- ③自律して学ぶ子ども

かしこく

- ・問い、振り返りを大切にされた授業（授業改善・授業研究）
- ・個に応じた「できる」の積み重ね（モジュール時間の活用）
- ・教科担任制・授業交換の導入（授業の質向上・児童理解）
- ・家庭学習の見直し（ドリルや復習と探究的な学習）
- ・タブレット端末の有効活用（つながる、発見する、表現する）

見通しを持って、粘り強く取り組む態度の育成

- ①何でも粘り強く取り組む子ども
- ②しじみ清掃に取り組む子ども
- ③歩いて登下校する子ども

さいごまで

- ・総合的な学習の時間の充実（探究的、課題解決的な活動）
- ・学級のタカラモノ（〇年〇組の学級自慢）
- ・自分たちの児童会（学校生活をよりよくする自治的活動）
- ・自分の取り組みを振り返り、自信につなげる。

ふるさと中佐都を愛する心

- ①地域に開かれた学校
- ②地域の方と交流する子ども
- ③校外へ学びの場を広げる子ども

ふるさととも

- ・コロナ禍でも可能な地域交流（教科、総合的な学習の時間）
- ・外部講師によるクラブ活動（他学級との活動、地域との交流）
- ・中佐都CS応援団との連携（学校支援・学校評価）
- ・各種ボランティアとの連携（学習支援、地域の中の学校）

自己肯定感の向上

予測困難な社会で自分らしく生きていくための資質・能力の育成

本年度の重点的取り組み

学び続ける職員集団

- 自己課題の研究 授業改善 校内外の職員研修
- 児童理解研修 非違行為防止研修 信州型UD研修
- 学校自己評価

保護者・PTAとの連携

- 授業参観 学級懇談会 教育相談
- 支援会議 情報共有
- 各種PTA活動

地域との連携

- 中佐都CS応援団 見守り隊
- 学習ボランティア 支部行事
- 育成会（区長会）

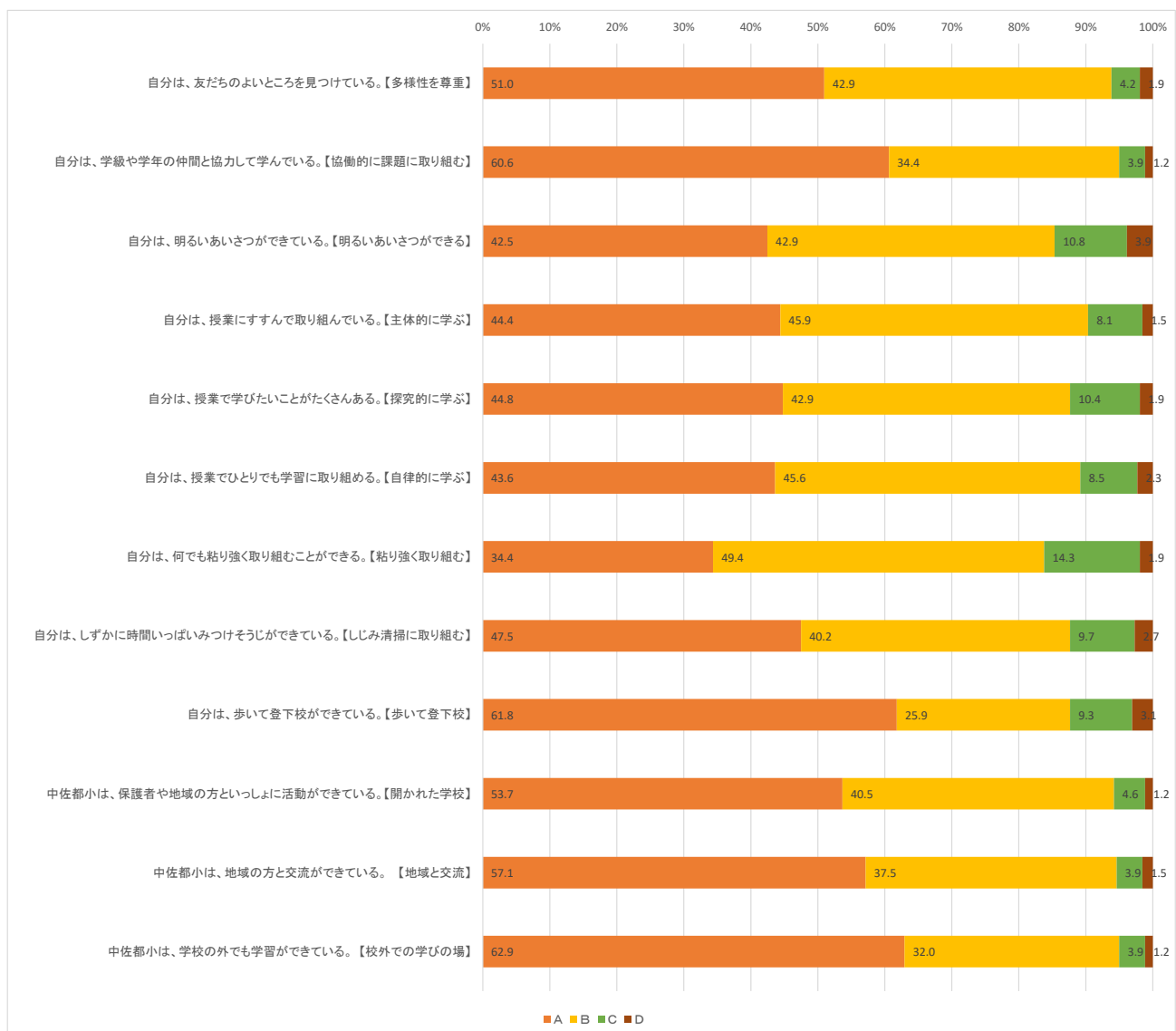
子どもの育ちを支える土台

令和4年度 学校評価(児童)の結果

資料2

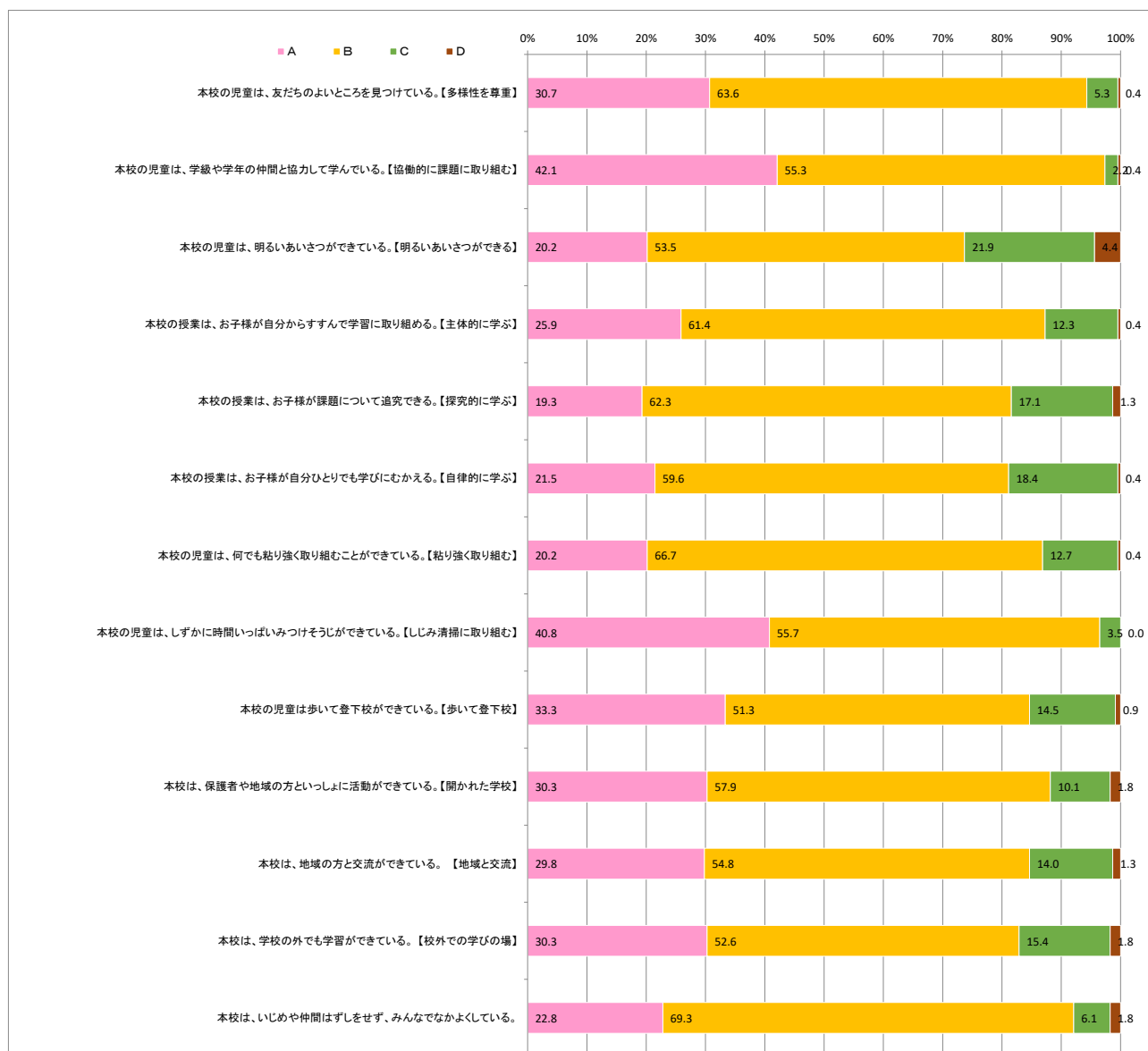
児童数 317
 回答数 288 91%

自分の通っている中佐都小学校は、どんな学校でしょうか。					(%)
質問	評価の観点	A	B	C	D
1	自分は、友だちのよいところを見つけている。【多様性を尊重】	51.0	42.9	4.2	1.9
2	自分は、学級や学年の仲間と協力して学んでいる。【協働的に課題に取り組む】	60.6	34.4	3.9	1.2
3	自分は、明るいあいさつができています。【明るいあいさつができる】	42.5	42.9	10.8	3.9
4	自分は、授業にすすんで取り組んでいる。【主体的に学ぶ】	44.4	45.9	8.1	1.5
5	自分は、授業で学びたいことがたくさんある。【探究的に学ぶ】	44.8	42.9	10.4	1.9
6	自分は、授業でひとりでも学習に取り組める。【自律的に学ぶ】	43.6	45.6	8.5	2.3
7	自分は、何でも粘り強く取り組むことができる。【粘り強く取り組む】	34.4	49.4	14.3	1.9
8	自分は、しずかに時間いっぱいみつけそうじができています。【しじみ清掃に取り組む】	47.5	40.2	9.7	2.7
9	自分は、歩いて登下校ができています。【歩いて登下校】	61.8	25.9	9.3	3.1
10	中佐都小は、保護者や地域の方といっしょに活動ができています。【開かれた学校】	53.7	40.5	4.6	1.2
11	中佐都小は、地域の方と交流ができています。【地域と交流】	57.1	37.5	3.9	1.5
12	中佐都小は、学校の外でも学習ができています。【校外での学びの場】	62.9	32.0	3.9	1.2

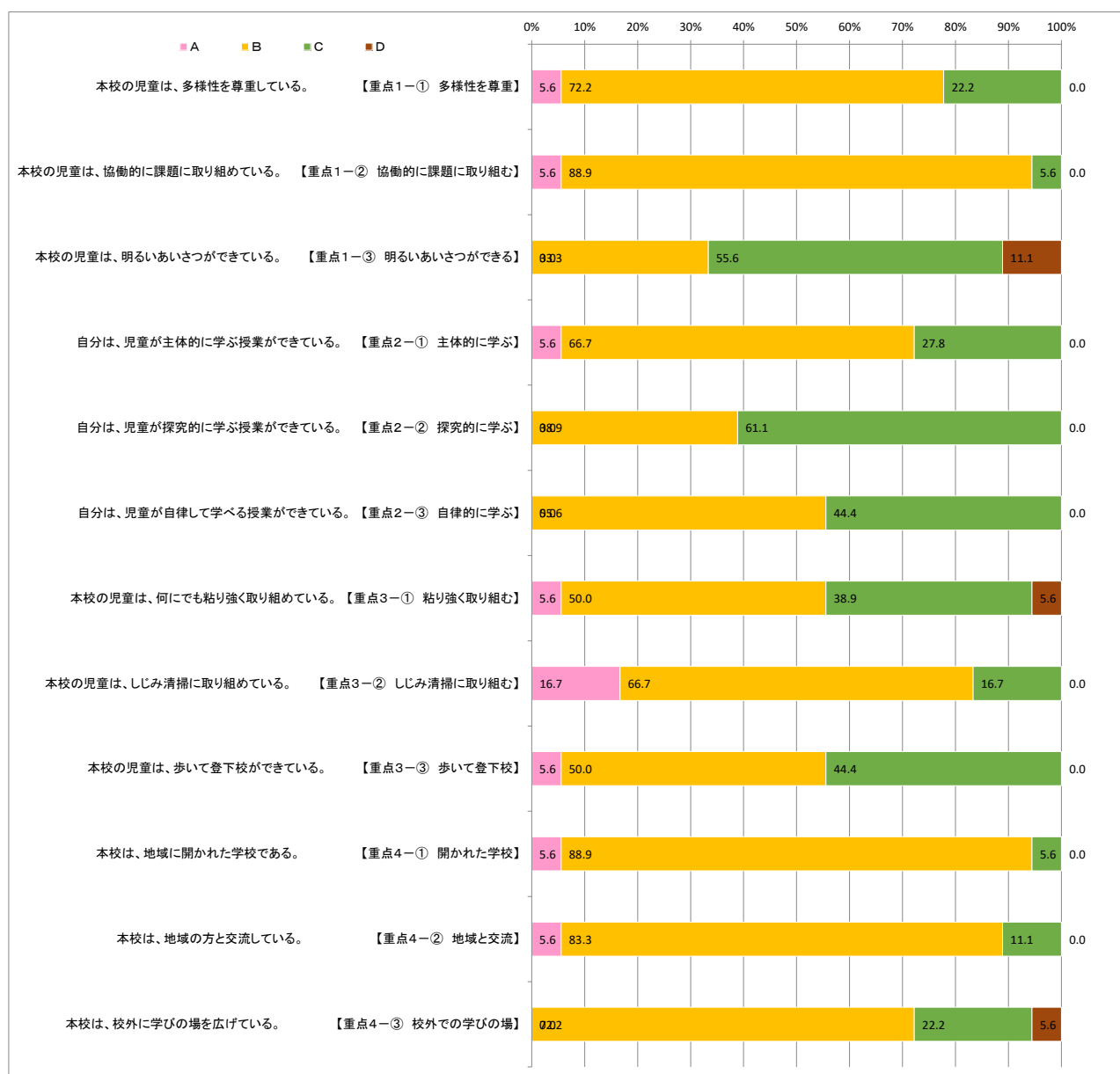


児童数 317
回答数 228 72%

お子さんの通っている中佐都小学校は、どんな学校でしょうか。					(%)
質問	評価の観点	A	B	C	D
1	本校の児童は、友だちのよいところを見つけている。【多様性を尊重】	30.7	63.6	5.3	0.4
2	本校の児童は、学級や学年の仲間と協力して学んでいる。【協働的に課題に取り組む】	42.1	55.3	2.2	0.4
3	本校の児童は、明るいあいさつができています。【明るいあいさつができる】	20.2	53.5	21.9	4.4
4	本校の授業は、お子様が自分からすすんで学習に取り組める。【主体的に学ぶ】	25.9	61.4	12.3	0.4
5	本校の授業は、お子様が課題について追究できる。【探究的に学ぶ】	19.3	62.3	17.1	1.3
6	本校の授業は、お子様が自分ひとりでも学びにむかえる。【自律的に学ぶ】	21.5	59.6	18.4	0.4
7	本校の児童は、何でも粘り強く取り組むことができている。【粘り強く取り組む】	20.2	66.7	12.7	0.4
8	本校の児童は、しずかに時間いっぱいみつけそうじができています。【しじみ清掃に取り組む】	40.8	55.7	3.5	0.0
9	本校の児童は歩いて登下校ができています。【歩いて登下校】	33.3	51.3	14.5	0.9
10	本校は、保護者や地域の方といっしょに活動ができています。【開かれた学校】	30.3	57.9	10.1	1.8
11	本校は、地域の方と交流ができています。【地域と交流】	29.8	54.8	14.0	1.3
12	本校は、学校の外でも学習ができています。【校外での学びの場】	30.3	52.6	15.4	1.8
13	本校は、いじめや仲間はずしをせず、みんなでなかよくしている。	22.8	69.3	6.1	1.8



中佐都小学校は、どんな学校でしょうか。					(%)	
質問	評価の観点	A	B	C	D	
1	本校の児童は、多様性を尊重している。 【重点1-① 多様性を尊重】	5.6	72.2	22.2	0.0	
2	本校の児童は、協働的に課題に取り組んでいる。 【重点1-② 協働的に課題に取り組む】	5.6	88.9	5.6	0.0	
3	本校の児童は、明るいあいさつができています。 【重点1-③ 明るいあいさつができる】	0.0	33.3	55.6	11.1	
4	自分は、児童が主体的に学ぶ授業ができています。 【重点2-① 主体的に学ぶ】	5.6	66.7	27.8	0.0	
5	自分は、児童が探究的に学ぶ授業ができています。 【重点2-② 探究的に学ぶ】	0.0	38.9	61.1	0.0	
6	自分は、児童が自律して学べる授業ができています。 【重点2-③ 自律的に学ぶ】	0.0	55.6	44.4	0.0	
7	本校の児童は、何にでも粘り強く取り組んでいる。 【重点3-① 粘り強く取り組む】	5.6	50.0	38.9	5.6	
8	本校の児童は、しじみ清掃に取り組んでいる。 【重点3-② しじみ清掃に取り組む】	16.7	66.7	16.7	0.0	
9	本校の児童は、歩いて登下校ができています。 【重点3-③ 歩いて登下校】	5.6	50.0	44.4	0.0	
10	本校は、地域に開かれた学校である。 【重点4-① 開かれた学校】	5.6	88.9	5.6	0.0	
11	本校は、地域の方と交流している。 【重点4-② 地域と交流】	5.6	83.3	11.1	0.0	
12	本校は、校外に学びの場を広げている。 【重点4-③ 校外での学びの場】	0.0	72.2	22.2	5.6	



中佐都小学校は、どんな学校でしょうか。					(人)
質問	評 価 の 観 点	A	B	C	D
1	本校の児童は、多様性を尊重している。【重点1-① 多様性を尊重】	1	4	0	0
2	本校の児童は、協働的に課題に取り組んでいる。【重点1-② 協働的に課題に取り組む】	3	2	0	0
3	本校の児童は、明るいあいさつができています。【重点1-③ 明るいあいさつができる】	2	3	0	0
4	本校は、児童が主体的に学ぶ授業ができています。【重点2-① 主体的に学ぶ】	3	2	0	0
5	本校は、児童が探究的に学ぶ授業ができています。【重点2-② 探究的に学ぶ】	2	3	0	0
6	本校は、児童が自律して学べる授業ができています。【重点2-③ 自律的に学ぶ】	2	3	0	0
7	本校の児童は、何にでも粘り強く取り組んでいる。【重点3-① 粘り強く取り組む】	3	2	0	0
8	本校の児童は、しじみ清掃に取り組んでいる。【重点3-② しじみ清掃に取り組む】	1	3	1	0
9	本校の児童は、歩いて登下校ができています。【重点3-③ 歩いて登下校】	2	3	0	0
10	本校は、地域に開かれた学校である。【重点4-① 開かれた学校】	2	3	0	0
11	本校は、地域の方と交流している。【重点4-② 地域と交流】	2	3	0	0
12	本校は、校外に学びの場を広げている。【重点4-③ 校外での学びの場】	1	4	0	0

